

## 若手女性研究者のリーダーシップ育成とネットワーク構築のための Workshop の参加報告

井上 直子 (名古屋大学 大学院生命農学研究科)

【日時】 2020 年 10 月 16 日 (金)

【場所】 Web 開催 (Zoom)

【主催】 男女共同参画学協会連絡会

【共催】 日本大学生物資源科学部、在日米国大使館

Workshop 1: Barriers for women in STEM and leading change

Workshop 2: Leading teams for innovative performance

Workshop 3: Practicing persuasion and influence

10 月 16 日に男女共同参画学協会連絡会主催の「若手女性研究者のリーダーシップ育成とネットワーク構築のための Workshop」がウェブ開催され、Workshop2 「Leading teams for innovative performance (革新的パフォーマンスを目指したチームの指導)」に参加させていただきました。Workshop は、” Leadership” がご専門の米国ストーニー・ブルック大学経営学部のリリー・クッシェンベリー博士によるご講演と参加者によるグループトークが組み合わせられ、双方向型ですすめられました。クッシェンベリー博士はご講演の中で、独創性のある革新的な仕事を達成するためにリーダーに求められるのは、常に周囲をサーチし、どこに問題があるのかを把握すること。また、なぜその問題に取り組むのか、組織の人達とビジョンを共有すること。組織の中の誰もが臆することなく、独創的なアイデアを自由に述べられる環境をつくることが重要であるとお話されていました。Workshop 終了後は、参加者による交流会がウェブ開催されました。Workshop2 の交流会では、リーダーとして研究グループを率いる際の悩みや、育児と研究のバランスの取り方についての悩みが相談され、子育てをしながらの研究室運営や研究の遂行には、指導学生や共同研究者と日頃から研究の進行状況を共有できるクラウドサービスを利用することが有効であるなど参加者の経験を共有することで様々な専門を持つ研究者のネットワーク作りがすすめられました。